



Weglotの導入について

Weglot導入の目的

1. 海外からのアクセス増加や、外国人顧客へのサービス提供に対応するため、
2. WordPressサイトを多言語化する方法としてWeglotを導入します。
3. 導入の目的は以下の3点です。
4. 多言語SEOによる検索流入の拡大
5. 翻訳作業の効率化（自動＋手動修正対応）
6. 更新後も即時に翻訳反映できる柔軟な運用

Weglotの概要と仕組み

1. Weglotはクラウド上で動作するSaaS型の多言語化サービスで、WordPress用プラグインを介して接続します。
2. サイトのHTMLを解析し、翻訳対象のテキストを自動的に抽出・翻訳してくれる点が特徴です。

翻訳データはWordPress内ではなく、Weglotのサーバー側で一元管理されます。

■ Weglot公式サイト (<https://weglot.com>)

無料プランは2000語・1言語まで、有料は月額 €15～。

お客様で行うこと（契約前後）

■ 契約前

- Weglot公式サイト（<https://weglot.com>）で料金プランを確認。
- 無料プランは2000語・1言語まで、有料は月額 €15～。
- 翻訳対象言語と翻訳対象ページ（全体／一部）を明確にしておく。
- 自動翻訳で済ませる箇所と、手動で修正したい箇所を区別しておく。

■ 契約後

1. Weglotのアカウント登録とプラン契約
2. 「API Key」の発行（ダッシュボードに表示）
3. 翻訳対象言語を選択（例：日本語 → 英語、繁体字など）
4. 翻訳管理画面で自動翻訳結果をチェック・必要に応じて編集

■ 契約について

Weglotは「1契約＝1サイト（1ドメイン）」が基本となります。

サブディレクトリ（例：/en/）での展開は同一契約内で対応可能ですが、サブドメイン（en.example.com）や別ドメイン（example.tw）は別契約が必要です。

プランにより語数・言語数・サイト数が異なるため、初期導入時に運用方針と必要プランを確認します。

Weglotのメリット

- 導入が非常に簡単（プラグイン+APIキーで完結）
- 翻訳精度が高い（DeepL・Google Translate等の機械翻訳を組み合わせ）
- SEO最適化済み：
- 各言語ごとに自動で専用URL（例：/en/）を生成
- hreflangタグや言語別サイトマップを自動生成
- 手動編集が容易：
- Weglotのダッシュボード上で文単位の翻訳を修正でき、非エンジニアでも対応可能
- クラウド管理のため、サーバー負担が軽い
- 非同期読み込み対応：表示速度への影響が少ない

Weglotのデメリット・注意点

- 有料制（語数制限あり）：無料プランは2000語まで。企業サイトやLP規模でも上限に達しやすい。
- 翻訳データが外部に保存されるため、プラグインを停止すると翻訳内容が消える。
- 細かい制御が限定的：
 - サイト構造全体を翻訳対象とするため、特定部分のみ翻訳したい場合は除外設定が必要。
 - 複数人で管理する場合は有償チームプランが必要。
- PolylangやWPMLのようにWordPress投稿単位での完全分離管理は不可。
- 有料プラン（月額€15～／1サイト）は、翻訳語数により料金変動します。
- 契約を停止すると翻訳が非表示になります（元ページの日本語版は残ります）。

Polylangとの違い（比較ポイント）

項目	Weglot	Polylang
翻訳方式	自動翻訳＋クラウド管理	手動翻訳＋WP内保存
翻訳精度	高（AI翻訳）	翻訳者の手動依存
管理画面	Weglot専用ダッシュボード（外部）	WordPress内で完結
SEO	hreflang・URL構造を自動生成	自分で設定が必要
コスト	有料（月額制）	無料（Proは買い切り）
柔軟性	自動化向き	完全手動・自由度高
メンテナンス性	高（更新不要）	WP更新・翻訳管理の手動対応が必要

まとめ

Weglotは「1契約＝1サイト（1ドメイン）」が基本で、APIキーを設定するだけで翻訳ページが自動生成され、SEOにも最適化されます。

自動翻訳の品質も高く、導入・運用の手間が少ないため、「多言語対応を早く・確実に行いたい企業サイト」に向いています。

一方で、翻訳データが外部依存である点と、月額課金制であることが導入判断のポイントとなります。

ご不明な点等ございましたらご相談ください



sai_design



公式サイトはこちらから